

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要							担当局	広報室
							担当課	広報課
事業概要							課長名	鷹取 典子
							施策番号	
事業名	タウンミーティング開催事業						事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
事業概要	様々な政策課題について、市民と直接対話するタウンミーティングや地域ふれあいトークを開催し、市民の意見を伺うとともに、市民が市政への理解を深めることで市民と市との協働によるまちづくりを進めることを目的とする事業です。							
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.06 人	
		8,000 千円	千円			3,315 千円	係長 0.15 人 職員 0.15 人	
							(人件費備考)	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	市民と市との協働を進めることが目的であるため、市民意識調査の市政要望等により市民の関心の高いテーマを選択し、より効率的で多くの市民にご参加いただけるよう、さらに検討を行います。	見直し内容 テーマや実施時期・実施方法を見直す必要が生じることがあります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	より多くの市民にご参加いただき、市民と市との協働を進めます。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由	
	市民の市政への関心・理解度					
	タウンミーティング参加者へのアンケート調査において、本市のまちづくりの方向性や市の取り組みについて関心・理解が深まったと答えた人の割合 (最終目標と目標年度)		60 %		%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	市民のまちづくりへの参画や市民の協働を進めるために、タウンミーティング及び地域ふれあいトークを開催し、市長が市民と直接対話し、意見を伺います。 実施方法(テーマの選定方法、規模、回数、実施場所・時間等)の工夫やアンケートによる満足度の把握などにより、多くの市民に参加いただくとともに高い効果を得られるよう検討を進めたいと考えています。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由	
	タウンミーティング開催回数					
	様々な政策課題についてタウンミーティングを開催し、市民との対話の機会を設けます。		8 回		%	
	タウンミーティング参加者数					
	タウンミーティングを通じ、より多くの市民の参加を得て、対話を図ります。		1,700 人		%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

		担当局	広報室				
		担当課	報道課				
		課長名	島屋				
事業概要		施策番号					
事業名	情報発信・取材協力事業				IV - 4 - (2) - ③		
事業概要	本市の知名度と都市イメージの向上を図るため、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等のマスメディアを通じた本市のPR事業				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.10 人	(人件費備考)
	37,850 千円	千円			4,900 千円	係長 0.15 人 職員 0.30 人	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 本市の知名度、イメージ向上に一定の成果は挙げていると思われ、目立った課題はない。	見直し内容	今後も様々な媒体を活用し、本市のさらなる知名度、イメージの向上を図る。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 本市の知名度及び都市イメージ	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 各種雑誌への記事掲載、テレビ番組の放映などを通じて、環境未来都市・北九州市のアピールや、ものづくり、観光グルメ、自然などの情報を発信するとともに、市長対談やインタビューなどを雑誌などに掲載することを通して、本市のイメージアップと認知度の向上を図ります。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) 北九州市の認知度	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	北九州市の認知度向上を図ります。 (最終目標と目標年度) 平成29年度までに政令指定都市10位以内	18 位	16 位以内	%	
	北九州市の情報接触度				
	北九州市の情報に触れる機会を増やします。 (最終目標と目標年度) 平成29年度までに政令指定都市10位以内	15 位	14 位以内	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 今年度のトピック的な事項に加え、グルメ・観光・自然等の情報発信を行うなど、多方面から本市のイメージアップおよび認知度の向上を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明) 雑誌・新聞等掲載実績	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	雑誌などを活用したPRを推進するため、出版社へのプロモーションや各種情報発信、取材協力を行います。		86 件	%	
	テレビ・ラジオ番組放映実績				
	テレビ番組等を活用したPRを推進するため、番組誘致活動や各種情報発信、取材協力を行います。		224 件	%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

事業概要						担当局	広報室	
						担当課	報道課	
						課長名	日々谷	
事業名	映像製作誘致強化事業					施策番号		
						IV - 4 - (2) - ③		
事業概要	映画・TVドラマ等のロケ誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図ります。また、支援作品やロケ地を街のにぎわいの創出や人的交流等のまちづくりに活用します。					事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
							()	
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.90 人	
	8,192 千円	千円	千円	30,600 千円		係長 人	職員 2.70 人	(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	平成24年度は例年水準の誘致実績及び直接経済効果を上げ、本市の知名度向上に繋げることができたが、他都市もロケ誘致に力を入れていることから、引き続き誘致を積極的に推進します。	見直し内容 観光客増に向けて作成しているロケ地マップや制作会社への営業ツールの改訂や、東京の制作会社への営業に加えて、海外に目を向けたプロモート活動も積極的に行っていきます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	対象(誰を、何を) 本市の知名度及び都市イメージ	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 映画・TVドラマ等のロケ誘致や撮影支援により、本市の知名度向上および良好な都市イメージの構築を図ります。また、撮影誘致による地域経済への貢献や支援作品・ロケ地を活用した街のにぎわい創出、将来的にはロケの定着化により地域の映像産業・雇用の創出などを目指します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標	(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	北九州フィルム・コミッションの市民への認知度			60 %	%		
	本市がフィルム・コミッション事業に力を入れており、映画やテレビドラマのロケの誘致を数多く行っていることについて、まず市民に知っていただくことが重要であると考え、指標として設定しました。 (最終目標と目標年度)				1億 円	%	
	地域経済への貢献(直接経済効果) ロケを誘致し、撮影隊の本市への滞在を通じて、地域経済への貢献(直接経済効果)を高めます。 (最終目標と目標年度) いっそうの貢献を図ります。					%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 本市の知名度と都市イメージの向上のため、映画・TVドラマ等のロケ誘致を積極的に推進します。また、支援作品を活用し、街のにぎわい創出や人的交流等につなげるため、市民のエキストラ・ボランティア参加を積極的に募集します。	活動の状況		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標	(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	撮影支援実績			10 件	%		
	都市イメージの向上ならびに交流人口の拡大等による地域経済の活性化、映像関連産業の集積を図るため、国内外の映画やドラマ、CMなどの撮影の誘致・支援を行います。				500 人	%	
	市民エキストラ・ボランティア参加(人的交流) 支援作品を活用した「まちづくり」を行うため、エキストラ、ボランティアスタッフ等への市民の参加を促進します。					%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点